

周囲のたばこ環境及び行われている受動喫煙防止対策について

- ・ 禁煙ルームの設置（一人利用のビジネスホテル等に比較し、複数利用の旅館などでは普及が進んでいない）
- ・ ロビー・飲食施設など公共性の高い場所での分煙・禁煙化
- ・ 施設内での喫煙場所指定の普及

受動喫煙防止対策を進める上で生じている問題点について

- ・ 車内・路上などでの禁煙が一般化する事と反比例し、飲食・宿泊施設を「安全地帯」と考える喫煙者が多い
- ・ 客室内など公共性の低い場所での禁煙を進める事が難しい
- ・ マージャン場・ラウンジなど喫煙が一般化している施設を持つ事が多い
- ・ 喫煙者は「他のお客様」に対する遠慮はあるが、従業員・スタッフも受動喫煙者であるという理解は少ない
- ・ 禁煙に対するクレームも以前ほどではないが発生しており、トラブルを恐れる施設も多い
- ・ 目の届かないエリアでは吸殻の放置が未だに目立ち、灰皿の撤去が火災の危険を招く一面もある

問題点の解決方法について

- ・ 建物内禁煙の一般化（シガーバーなど特殊な業態に対する施策は必要）への理解と認知
- ・ 飲食・宿泊施設については当面の間、利用人数や面積に対して相応の指定喫煙場所の設置が必要
- ・ 施設従業員・スタッフに対しても受動喫煙被害が発生している事に対する理解と認知